

行政 視察

山田の復興状況などを説明

新型コロナウイルス感染症が感染症法の「2類感染症」から「5類感染症」に位置づけられたことに伴い、昨年度は3件だった当町への行政視察が今年度は既に4市町が来町されています。当町の復興状況や、南海トラフ地震への備えとして、地震・津波対策の現状などを視察しました。

千葉県とうのしょうまち東庄町（6月22日来町）

コンパクトな町づくりの公共交通



震災後のコンパクトな町づくりから、公共交通の在り方を視察された東庄町。住宅地が高台へ移転し、商店街との距離が遠くなったことから、循環バスやコミバスを導入した事例を紹介しました。

千葉県かとり香取市（7月5日来町）

しいたけ生産者のナマの声聞きたい



香取市は旧山田町を含む市町が合併してできた市で、合併に伴う姉妹都市提携解消後も災害時相互応援協定を締結するなど、交流が続いています。船越の道の駅やまだ（当時）で、当町のしいたけ生産者の生の声を聞きました。

静岡県ふじのみや富士宮市（8月8日来町）

復興後の街並みをようやく見られた



平成29年8月8日、視察のちょうど6年前、富士宮市と災害時応援協定を締結しました。震災時も大変多くの支援をいただきました。当町の復興後の街並みや、心の復興の進め方などを視察しました。

静岡県まつぎきちょう松崎町（10月11日来町）

教訓を南海トラフ地震へ活かしたい



松崎町は駿河湾に面し、平地も広大なことから、南海トラフ地震への備えを一層強化するため、当町の地震発生直後から3日後までの役所の動きと、住民の動きの双方を聞き取り、お互いの役割などを確認しました。